



年末の交通安全県民運動実施中!

市民安心課 交通防犯係 ☎ 36-7144 | 自発光式反射材の着用推進と、早めのライトオン

市（島田市交通安全対策協議会）では、12月15日（月）～31日（水）の「年末の交通安全県民運動」期間において、運動の重点を「高齢者の自発光式反射材の着用推進と、車両の早めのライトオン」と定めました。

交通事故の犠牲者となる割合が高い高齢者自身が、車両からの視認性を高めるとともに、ドライバーが高齢者をいたわる運転をすることで、交通事故の発生を防止しましょう。

運動の重点【県】

- ① 高齢者と子どもの交通事故防止
- ② 夕暮れ時から夜間の交通事故防止「自発光式反射材」の着用と夕暮れ時「早めのライトオン」の励行
- ③ 飲酒運転の根絶

反射材があなたを守る

夜間、歩行者の服装の色や反射材の着用の有無によって、ドライバーからの視認性には、大きな差が生じます。

ドライバーが夜間に歩行者を発見できる距離は、歩行者が黒い服を着ていた場合で約10m、白い服では約38m、反射材を着用すれば約60m、自発光式反射材の着用で約100mです。

車両が時速40kmで走行していた場合の停止距離は22mです。歩行者が

黒い服を着ていた場合では、手前で停止することができません。また、一般道で考えられる車両の走行時速60kmでは、停止距離は44mにもなり、白い服であっても停止が間に合いません。

自らの身を守るため、反射材を着用し、ドライバーからの早期発見を促しましょう。自発光式反射材は、車両のライトがなくても自身の存在を早くからアピールできます。ぜひ自発光式反射材を着用しましょう。



郵便局前で高齢者に自発光式反射材・チラシを配布し、交通安全を広報

市内の反射材の着用状況

平成25年12月10日～平成26年1月31日の53日間を調査期間とし、市内の自治会を対象に、夜間の反射材の着用調査を実施しました。

市内24の自治会からの回答では、1390人のうち、299人（21.5%）が反射材を着用していました。

平成24年秋の交通安全運動以来の県下統一「ピカッと作戦！」実施の効果が見われてきていると思われる

す。今後も、全ての皆さんが自発光式反射材を着用するよう、運動を進めていきます。

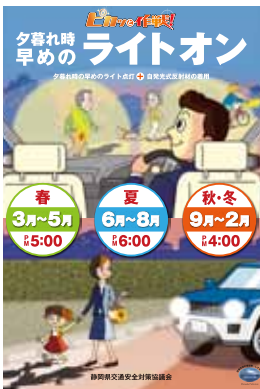
反射材を着用しないと危険です

本年10月末現在、県内の交通事故死者数は108人で、そのうち歩行者の高齢者は27人、うち夜間に亡くなった15人の中で反射材着用者は1人のみでした。やはり、反射材を着用していないと、交通事故に遭う危険性が高いことが明らかになっています。

早めのライトオンで、歩行者・自転車を守る

県下統一「夕暮れ時早めのライトオン」では、秋から冬、9月から2月の間は、午後4時の車両のヘッドライト点灯を勧めています。

1年間で最も昼の時間が短い「冬至」を迎える12月22日の県内日没時刻は、午後4時39分（予定）です。薄暗くなる前、午後4時には必ず車両のヘッドライトを点灯し、歩行者や自転車も早期に確認して交通事故を未然に防止しましょう。



生活用品活用バンク

とき／毎週火曜日・木曜日 午前9時～午後4時（祝日・プラザおおるり休館日を除く）
ところ／市民相談係（プラザおおるり1階）

登録方法／電話または直接、市民相談係まで（品物の色、形式などもお伝えください）

①譲ります

- ▽たんす・ベッド・学習机・本棚・椅子・大型冷蔵庫・洗濯機・電気ストーブ・ベビーベッド・クーハン・ベビーカー・チャイルドシート・制服・ゴルフクラブ・スキー板・健康器具・ギター・ピアノ・電子オルガン・きねと白・大小屋・ポータブルトイレ

②譲ってください

- ▽食卓用椅子・ソファ・ベッド・介護用ベッド・ソファ・電気炊飯器・小型冷蔵庫・加湿器・ワープロ・テレビ・制服・布おむつ・ジュニアシート・レグマシン・琴・ミシン・平板測量器具・猫用ケージ・自転車
- ※12月2日現在の状況です。詳しくは、市ホームページの一覧表をご覧ください。

注意点

- 譲りたい物は、自宅で保管
- 譲ってほしい人が運搬

◎市民安心課 市民相談係

☎ 36-7153